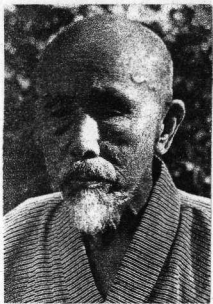


坂本繁二郎 はたもと じゅうじょう 洋書家。明治十五年二月、福岡県生れ、昭和四十四年七月十四日没（八八二一九六）。號踏涼、別名坂本繁次郎、阪本繁二郎。明治二十五年上京、小山正太郎の同舍生を経て、二十七年太平洋書會研究所に入会。大正二年、「科會創刊會員」。十年フランク入会渡り、十二五年歸國して郷里に留米の滞住。昭和二十一年文化勳章受章。著書『幻現代諸家スケッチブック・第一集』（合著、大正六年八月八日河蘭館書房縮刊）、『坂本繁二郎画談』（杉森麟編著、昭和二十七年十一月、千日第一書房）等。

文献、松本清張著『私論 青木繁と坂本繁二郎』（昭和五十七年七月）
十五日新潮社）等。



坂本繁二郎画談

編著者

芸術の美を探求して七十年、日本洋画界の最高峰が芸術即人生の絶対境の表現！
ひたむきに人生と取組みながら、明治・大正・昭和の洋画界に、力強い歩みをつづけてきた画伯が、芸術一般に通ずる、あらゆる問題を、赤裸々に至直に語られた、単なる画論ではない、古今東西稀なる芸術論だ！